

令和7年度 福井県立武生商工高等学校
部活動に係る活動方針

生徒の実態
部活動の意義と効果を理解し、前向きに取り組んでいる生徒が多い。 部活動に属さず、校外団体での活動を行う生徒も存在する。

ねらい
部活動を通して豊かな学校生活を経験し、体力や健康の増進、技術や知識の習得を図る中で、豊かな人間性を育む。

保護者の願い
部活動を通して、健康で健全な人格の形成を目指し、豊かな人生を送る基礎を育む。

学校や地域の実態
商工異なる分野を学ぶ多様な生徒が在籍し、地元の企業に就職する生徒も多い。また、進学後地元に戻り就職する生徒も多く、本校に対する地元企業の期待は高い。

活動計画・時間
○活動時間 ・平日の活動は2時間程度とする。 ・休日の活動は3時間程度とする。
○休養日 ・平日の休養日を原則1日以上設ける。 ・週末（土曜日および日曜日）は1日以上を休養日とする。 ・年間5日以上以上の活動休養日を確保する。 上記を基準とするが、大会や学校行事等の状況を考慮し、年間を通して効率的・効果的な活動を心がける。 運動や食事、休養、睡眠などのバランスがとれた生活を送ることができるよう配慮する。

外部指導者との連携
必要に応じて、外部指導者の活用を推進する。また、学校現場における適切な指導者の選定を行う。

設置部活動
運動部 フェンシング・野球・陸上・弓道 サッカー・ホッケー・バドミントン 卓球・硬式テニス・ボクシング バレーボール・バスケットボール 文化部 吹奏楽・新聞・美術・書道・茶華道 家庭・調理・商業研究・放送・写真 建築文化・機械工学・電気工学 都市工学

危機管理体制
安全管理を徹底し、事故の防止に努めるとともに、共同管理体制や緊急連絡体制を確立し、不測の事態に対応できる環境の整備に努める。

指導力向上
関係団体や保護者の協力、地域の指導者を活用し、各部における指導力の向上を図る。また、顧問間の情報共有を深め、学校全体として効果的な指導体制の構築を図る。

業務改善に向けた取り組み
生徒と保護者の多様なニーズに対応し、各部における活動目標を柔軟に設定する。また、定期的に評価と改善を行い、生徒の活動参加の機会が損なわれることがないように配慮する。

部活動における熱中症対策
熱中症予想情報サイトなどを活用して高温・多湿の環境条件を把握し、必要に応じて活動を中止又は運動量の調整等を行うなど、熱中症マニュアル等に基づき予防策を講じる。熱中症発生時の共通認識を図り、適切な対応を行う。

体罰等の防止
行き過ぎた指導や部活動の運営が、体罰やハラスメントにつながることはないよう定期的な研修を行うと共に、共同管理体制の中で相互に情報を共有できる環境づくりに努める。

部活動における感染症対策
感染拡大への警戒を怠らず、感染の状況に応じて衛生管理マニュアル等に基づき感染症対策を行う。